

- Ann Emerg Med. 1987;16:787-91.
4. Mandel LP, Cobb LA. CPR training in the community. *Ann Emerg Med.* 1985;14:669-71.
  5. Bergner L, Eisenberg MS. CPR: who should be trained? *Emerg Health Ser Q.* 1982;1:41-8.
  6. Eisenberg M, Damon S, Mandel L, et al. CPR instruction by videotape: results of a community project. *Ann Emerg Med.* 1995;25:198-202.
  7. Cobb LA, Eliastam M, Kerber RE, et al. Report of the American Heart Association Task Force on the Future of Cardiopulmonary Resuscitation. *Circulation.* 1992;85:2346-55.
  8. Godkin MD, Toth EL. Cardiopulmonary resuscitation and older adults' expectations. *Gerontologist.* 1994;34:797-802.
  9. Pierce JP, Anderson DM, Romano RM, Meissner HI, Odenkirchen JC. Promoting smoking cessation in the United States: effect of public service announcements on the cancer information service telephone line. *J Natl Cancer Inst.* 1992;84:677-83.
  10. Erickson AC, McKenna JW, Romano RM. Past lessons and new uses of the mass media in reducing tobacco consumption. *Public Health Rep.* 1990;105:239-44.
  11. Bellicha T, McGrath J. Mass media approaches to reducing cardiovascular disease risk. *Public Health Rep.* 1990;105:245-52.
  12. Freimuth VS, Van Nevel JP. Channels and vehicles of communication: the asbestos awareness campaign. *Am J Ind Med.* 1993;23:105-11.
  13. Jason J, Solomon L, Celentano DD, Vlahov D. Potential use of mass media to reach urban intravenous drug users with AIDS prevention messages. *Int J Addict.* 1993;28:837-51.
  14. Meischke H, Finnegan J, Eisenberg M. What can you teach about cardiopulmonary resuscitation (CPR) in 30 seconds: evaluation of a television campaign. *Eval Health Prof.* 1999;22:44-59.
  15. Eisenberg M, Horwood B, Cummins RO, Reynolds-Haertle R, Hearne T. Cardiac arrest and resuscitation: a tale of 29 cities. *Ann Emerg Med.* 1990;19:179-86.
  16. Lombardi G, Gallagher EJ, Gennis P. Outcome of out-of-hospital cardiac arrest in New York City: the Pre-Hospital Arrest Survival Evaluation (PHASE) study. *JAMA.* 1994;271:678-83.
  17. Becker LB, Ostrander MP, Barrett J, Kondos GT. Outcome of CPR in a large metropolitan area; where are the survivors? *Ann Emerg Med.* 1991;20:355-61.

## APPENDIX

*Public Service Announcements*

## 1. PSA #1 (30 seconds)

The narrator asks: "If someone you know has a heart attack, will you know what to do? With CPR, you can help. Remember these important steps. First, call 911 for help. Blow two full breaths, then pump the chest 15 times. Continue until help arrives. Once again, call 911, then blow and pump. For training, call 1-888-CPR-KING. Learn CPR. It saves lives."

An African American couple is shown in a simulated situation demonstrating the steps detailed in the narration. The words "Call 911," "Blow 2 Breaths," and "Pump 15 Times" appear on the screen as each step is acted out. The 1-888 number is shown on the screen toward the end of the spot.

## 2. PSA 2 (30 seconds)

The narrator asks: "If someone you know has a heart attack, will you know what to do? With CPR, you can help. Remember these important steps. First, call 911 for help. Blow two full breaths and watch the chest rise. Place your hands between the nipples and pump 15 times. Continue with two breaths and 15 pumps until help arrives. For training, call 1-888-CPR-KING. Learn CPR. It saves lives."

A white couple is shown in a simulated situation showing the steps of CPR as told in the narration. The words "Call 911," "Blow 2 Breaths," and "Pump 15 Times" are shown on the screen as those steps are carried out. The 1-888 number is shown on the screen toward the end of the spot.

## 標準的な放送料金表

ラジオ・テレビ基準電波料金 (単位千円)

(平成 18 年 8 月現在)

放送曲名	ラジオ (最高ランク)		テレビ (Aタイム)	
	タイム	スポット	タイム	スポット
<b>関東圏</b>				
東京放送	—	—	提供 CM 1分当り 680	15 秒 1,050
TBS R&C	30 分 540	20 秒 100	—	—
文化放送	〃 550	〃 100	—	—
日本テレビ放送網	—	—	30 分 1,900	15 秒 1,050
ニッポン放送	クレジット 40 秒 288	20 秒 127	—	—
日系ラジオ社 (旧ラジオたんぱ)	30 分 480	〃 48	—	—
FM東京	〃 627	〃 100	—	—
テレビ朝日	—	—	30 分 1,900	15 秒 1,050
フジテレビジョン	—	—	〃 1,900	Tops レート
テレビ東京	—	—	〃 1,900	15 秒 900
東京メトロポリタンテレビジョン (U)	—	—	〃 1,200	〃 300
J-WAVE (FM)	30 分 480	20 秒 80	—	—
エフエム インターウェーブ (FM)	〃 410	〃 52	—	—
アール・エフ・ラジオ日本	〃 480	〃 80	—	—
テレビ神奈川 (U)	—	—	30 分 1,000	15 秒 270
横浜エフエム放送 (FM)	30 分 450	20 秒 60	—	—
千葉テレビ放送 (U)	—	—	30 分 860	15 秒 210
ベイエフエム (FM)	30 分 380	20 秒 60	—	—
<b>関西圏</b>				
三重テレビ放送 (U)	—	—	30 分 700	15 秒 180
三重エフエム (FM)	30 分 160	20 秒 20	—	—
京都放送 (U)	30 分 350	〃 41	30 分 850	15 秒 250
エフエム京都 (FM)	30 分 330	〃 42	—	—
びわ湖放送 (U)	—	—	30 分 700	15 秒 150
エフエム滋賀	週 1 回 月極 30 分 480	20 秒 28	—	—
毎日放送	30 分 360	〃 65	提供 CM 1分当り 580	15 秒 720
朝日放送	〃 360	〃 65	30 分 1,600	〃 720
大阪放送	〃 360	〃 65	—	—
讀賣テレビ放送	—	—	30 分 1,600	15 秒 720
関西テレビ放送	—	—	30 分 1,600	〃 600
エフエム大阪 (FM)	30 分 410	20 秒 52	—	—
テレビ大阪 (U)	—	—	30 分 1,400	15 秒 518
FM802 (FM)	30 分 410	20 秒 52	—	—
関西インターメディア	〃 410	〃 52	—	—
ラジオ関西	〃 300	〃 45	—	—
Kiss-FM KOBE (FM)	〃 330	〃 40	—	—
サンテレビジョン (U)	—	—	30 分 1,116	15 秒 360
奈良テレビ放送 (U)	—	—	〃 690	〃 150
和歌山放送	30 分 154	20 秒 18	—	—
テレビ和歌山 (U)	—	—	30 分 600	15 秒 120

## 放送キャンペーンの具体的な方法（案）

1、NHK 神戸放送局の協力を得て、兵庫県内を対象に TV、ラジオを通じて集中的な情報提供を一定期間行う。

a) 予定期間（検討中）：7 月 1 日（AED 認可日）-9 月 9 日（救急の日）のうちの適当な期間（数週間程度か？）

b) 放送内容

(1) TV およびラジオ向けにスポット（30 秒程度）を作成し、期間中頻回に放送する。放送回数と放送時間帯を記録する。

(2) 心肺蘇生法講習、講演会、イベントなどの関連情報、現在までの実例、インタビューなどを、県内ニュースを中心に報道番組で積極的に取り上げる。

2、同時期に、市民、学校、地域自治会、公的機関職員、交通機関職員、娯楽・健康施設職員などを対象とした講習、講演会、その他イベントを積極的に開催する（ただし、関係機関の協力が必要）。

3、キャンペーン専用ウェブサイトを立ち上げ、平行して情報提供を行う。

➤ コンテンツ例：

1. AED 概説
2. 心臓突然死、救急蘇生ガイドライン 2005
3. AED の使い方
4. 最新トピック、ブログ
5. 製品（認可済み）情報、入手法・リース業者（県内および近隣地域）、関連製品（フェイスシールド、ポケットマスク等）情報
6. 設置場所（兵庫県内および近隣地域）
7. 講習スケジュール（県内および近隣地域）、関連イベント案内（県内および近隣地域）
8. AED（・心肺蘇生法）の過去の動向、関連通達・答申
9. 小児と AED、学校と AED
10. ゲーム・疑似体験
11. リンク
12. 推薦図書
13. Q&A、連絡先アドレス
14. ウェブサイト開設者情報（信頼できる開設者であることをアピール、科研費の対象であることを明示）
15. アンケート（必ず情報入手先を質問）

#### 4 留意点

なお、このキャンペーン企画においては、下記の諸点を重要なポイントとして挙げている。

- a) 対象は市民であり、医療関係者は対象ではない。
- b) 魅力医的なキャンペーン名、主宰団体名を冠する：例) 兵庫 AED プロモーション。
- c) ウェブサイトは、キャンペーン開始前から十分なアクセス数を確保できるよう（検索エンジンで上位にランクされるよう）、充実した内容と頻回の情報アップデートが必要である。
- d) ウェブサイトは最終年度までアクセスが凋落しないよう、兵庫県民に限定した内容にならないように注意を要する。
- e) 携帯電話からもアクセス可能なようにデザインする。

平成 19 年\*月\*\*日

## AED キャンペーンについて (依頼)

兵庫県下消防長会会長  
小野田敏行 殿

兵庫医科大学 救命救急センター講師  
久保山一敏

私どもは、平成 18～20 年度に厚生労働科学研究費補助金事業の一環として、AED 普及啓発を促進する事業を行っております (参考 1)。

この中で平成 19 年度中には、NHK 神戸放送局の協力を得て AED に関する市民向けの放送キャンペーンを、兵庫県下全域で一定期間実施する予定です (参考 2)。

つきましては県下各消防本部におかれましては、この計画の意義をご理解頂き、絶大なご協力を賜りたくお願い申し上げます。

### (参考 1) 厚生労働科学研究費 (循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)

「自動体外式除細動器 (AED) を用いた心疾患の救命率向上のための体制の構築に関する研究」

主任研究者 丸川征四郎 (兵庫医科大学 救急災害医学教授)

「AED を用いた心肺蘇生法教育効果の向上にかかわる研究」

分担研究者 太田祥一 東京医科大学救急医学 教授

研究協力者 久保山一敏 兵庫医科大学 救命救急センター 講師

### (参考 2) AED キャンペーンの構成 (案)

実施期間 (予定) : 7 月 1 日 (AED 認可日) を含む数週間

方法 : TV およびラジオでスポット (30 秒程度) 放送を繰り返す

放映内容 : AED および心肺蘇生法に関わる講習、講演会、イベントなどの情報

併設事業 : キャンペーン専用ウェブサイトを立ち上げて情報提供を行います

効果評価 : キャンペーンの効果を半年程度にわたって多面的に調査する

(心肺蘇生講習希望者数や PAD 件数の推移追跡などを含む)

以上

厚生労働科学研究費補助金  
「循環器疾患等生活習慣疾病対策総合研究事業」  
「自動体外式除細動器 AED を用いた心疾患の救命率向上のための  
体制の構築に関する研究」(H18・心筋・01)  
(主任研究者 丸川征四郎)

平成18年度研究報告

## 分担研究

AED の普及実態の把握、適正配置にかかわる研究

分担研究者 田中 裕  
(大阪大学大学院医学系研究科救急医学 准教授)

平成19(2007)年3月

## 目 次

1. 研究者名簿	2
2. 分担研究報告書	
研究課題A	AED（自動体外式除細動器）の設置状況に 関するレジストリ研究
	研究代表者 田中 裕
研究課題B	AED 設置状況の調査システムの構築
	研究代表者 近藤久禎

## 研究者名簿

分担研究者	田中 裕	大阪大学大学院医学系研究科救急医学
研究協力者	梶野 健太郎	大阪大学大学院医学系研究科救急医学
	石見 拓	京都大学保健管理センター（予防医療学）
	近藤久禎	日本医科大学付属病院高度救命救急センター
	横田裕行	日本医科大学付属病院高度救命救急センター
	丸川征四郎	兵庫医科大学救急災害医学
	山本保博	日本医科大学付属病院高度救命救急センター



厚生労働科学研究費補助金  
「循環器疾患等生活習慣疾病対策総合研究事業」  
「自動体外式除細動器 AED を用いた心疾患の救命率向上のための  
体制の構築に関する研究」(H18-心筋-01)  
(主任研究者 丸川征四郎)

分担研究  
AED の普及実態の把握、適正配置にかかわる研究  
分担研究者 田中 裕 大阪大学大学院医学系研究科救急医学

## 研究課題 A

AED (自動体外式除細動器) の設置状況に関する  
レジストリ研究

研究代表者 田中 裕  
(大阪大学大学院医学系研究科救急医学 准教授)

平成19 (2007) 年3月

## 目 次

1. 研究者名簿	6
2. 分担研究報告書	6
研究要旨	6
A. 研究目的	6
B. 研究方法	6
C. 研究結果	7
D. 考 察	7
E. 結 論	8
F. 健康危険情報	8
G. 研究発表	8
H. 知的財産権の出願・登録状況	8
資料 3 A-1 大阪府内の A E D 設置場所等情報へのご協力について	
資料 3 A-2 AED 設置場所等情報に関する調査票	
資料 3 A-3 AED レジストリの組織図 (図 1)	
資料 3 A-4 AED レジストリシステム	
資料 3 A-5 メディア報道	
資料 3 A-6 院外心停止症例に対する単相性及び二相性 AED の除細動成功率・転帰に関する検討	

## AED（自動体外式除細動器）の設置状況に関するレジストリ研究

研究代表者 田中 裕 大阪大学大学院医学系研究科救急医学  
研究協力者 梶野 健太郎 大阪大学大学院医学系研究科救急医学  
石見 拓 京都大学保健管理センター（予防医療学）

**研究要旨：**昨今 AED の必要性・簡便性から、多くの企業・病院・個人が AED を導入している。しかし実際には、AED の設置状況についてはどこも把握しておらず、その使用効果を検証する事や、AED 設置者の質を管理する事ができず、真の意味での PAD を実現することが難しい状態である。そこで、本研究では AED 設置状況を把握する実効性のあるシステムの開発を目的とした。第一段階として、大阪府下でパイロットスタディーを行うことを目的とした。レジストリシステムのインフラが整備できたので、次年度以降に登録を開始する予定である。

### A. 研究目的

平成 16 年 7 月 1 日付で厚生労働省から発表された「非医療従事者による自動体外式徐細動機（AED）の使用のあり方検討会報告書」によって、一般市民を含む医療従事者以外の方の AED 使用について、一定の方向性が示された。これを受けて、各地、各施設において AED の設置が進められている。一般市民による AED 使用（PAD：public-access defibrillation）により、先の愛知万博では 4 例が AED を使用して救命された。

昨今 AED の必要性・簡便性から、多くの企業・病院・個人が AED を導入している。しかし実際には、AED の設置状況についてはどこも把握しておらず、その使用効果を検証する事や、AED 設置者の質を管理する事ができず、真の意味での PAD を実現することが難しい状態である。そこで、本研究では AED 設置状況を把握する実効性のあるシステムの開発を目的とした。初年度は、第一段階として、大阪府下でパイロットスタディーを行うことを目的とした。さらに、本研究はウツタイン大阪プロ

ジェクトより、AED の設置が確認されている場所と、それ以外の場所で、心肺停止患者に対する蘇生率に差があるかどうかを検証するためのレジストリ確立研究として位置付ける。

### B. 研究方法

#### 1. 研究組織

本研究は大阪府 AED 普及推進委員会の下、大阪大学医学部附属病院高度救命救急センターならびに NPO 法人大阪ライフサポート協会が中心に行った。研究協力機関として、AED 登録業務を AED 販売業者（日本光電関西株式会社、日本メドトロニック株式会社、フクダ電子近畿販売株式会社）に協力をお願いした。またレジストリシステムの構築は株式会社エマーテックに委託した。

#### 2. 研究の対象及び方法

##### 1) 研究の対象

対象は、大阪府下で平成 19 年度より新規に AED を設置する予定のすべての施設とした。

## 2) 方法

本研究システムの概略を図1に示す。新規にAEDを購入時に、本研究趣意書(資料1)を提示しレジストリの参加を呼びかけた。この際、AED販売業者が直接購入施設に趣意書を渡し、承諾の得られた場合に調査票(資料2)に記入後、データ集計センターである大阪大学医学部付属病院高度救命救急センターへ郵送した。調査内容は、レジストリ参加の承諾、非承諾について、施設名(企業名)、設置場所住所、一般市民の使用の可、不可、担当者連絡先、氏名、電話番号、メールアドレス、ならびに購入機種名である。なお、後日担当者のメールにAEDマッピング作成に係わるURLを提供することとした。なお、レジストリ参加によるメリットとしては、①一定の条件を満たせば大阪府より、AEDステッカーを進呈する(資料3)。②無料でAED講習会の受講ができる。③AED使用に関する情報提供を受けられることができる。④AEDに関する医療情報の提供を受けられることである。

## C. 研究結果

レジストリシステムの概要(資料4)  
資料4-1にAEDレジストリシステムのトップページを示す。趣意書、AEDマップ、協力機関情報、講習会参加申込、その他サービスが受けられる。資料4-2にAEDマップを示す。AED設置場所一覧をクリックすることにより、その場所を含む地図を表すことができる。さらにAED設置場所にはマークが挿入されている。画面右の一覧より詳細を検索ことができ、AED設置場所の詳細画面(写真)が閲覧可能である。資料4-3はAEDレジストリ登録ログイン画面である。AED購入時の連絡担当者(資料2)宛メールに本システムのURLが送られ、パスワードが指定される。担当者は本パスワードを使用することで、個人情報保護される。

詳細な登録は各AED購入施設の判断で資料4-4以降の画面で登録可能である。資料4-4にAEDレジストリ登録画面を示す。まず設置施設の登録情報を一般向けに公開するか否かを選択してもらう。公開を選択した場合は、さらに詳細な設置施設情報を入力する画面に進む。ここでの入力情報は、施設名(企業名)、施設区分、住所、地図の座標(自動設定)、電話番号、メールアドレス、AED設置台数、PADの可否、AED管理者の心肺蘇生・AED受講歴、受講率、AEDに関して取り組んでいる内容、担当者連絡先、等である。特にAEDの設置施設であることと設置場所を公表していること、AEDを使った救命処置講習会受講者が5名以上いること、年に1回以上AEDを使った救命訓練を行っていること、レジストリ事業に参画していること、などは資料3に示す大阪府認定AED設置施設基準を認定する際に必要となる。

## D. 考察

AEDの効果に関する研究では、米国ノースカロライナ州でPAD可能なAEDがどの程度配置されているかを調査した研究が報告されている(1)。この報告では、AEDの設置が法律によって義務づけられていた552台のうち、99台(18%)のみが、PAD可能なものとしてレジストリに登録されていたに過ぎなかった。実際には166台がデータベース上ではPAD可能として登録されていたが、67台はPADが不可能な場所に配備されていた。以上の結果より、多くの未登録のAEDが存在することが明らかとなった。また過去の文献より、PADプログラムが組織されAEDが設置されているところは、救命率が改善してきており、レジストレーションの不備の結果、AEDの設置状況が把握できないため、PADプログラムを困難にしており、救命率改善に支障をきたしていることが示唆された。

梶野らの研究では、心原性心停止例を対象に、単相性の AED と二相性の AED について除細動成功率・転帰に関するウツタイン大阪プロジェクトの検討がある。これによると、除細動成功率は単相性と 2 相性の AED の間に有意差は認められなかった。しかし、転帰(心拍再開率、1 か月生存率、神経学的転帰良好) は、いずれも二相性波形群で有意に良好であった。また神経学的転帰良好例は全例 16 分以内に心拍再開が見られた。さらに 16 分以内に心拍再開している症例は二相性で有意に多く認められた。以上より、二相性 AED は、目撃のある心原性心停止例の早期心拍再開率を上げることにより、神経学的転帰を改善すると考えられた。

今後、AED マッピングが普及することにより、PAD の有効性や単相性および二相性 AED の効果比較などが、ウツタイン大阪プロジェクトのデータを組み合わせることにより可能になると考える。

## E. 結論

AED 設置者をレジストリするシステムを確立すべく、初年度は第一段階として大阪府下でパイロットスタディーとしてレジストリシステムを構築した。

## 参考文献

1) Myers J.B., et al . Lack of integration of automated external defibrillators with EMS response may reduce lifesaving potential of public-access defibrillation. PREHOSPITAL EMERGENCY CARE. 9:339-343, 2005.

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 【論文発表】

なし

### 【学会発表】

1. 梶野健太郎、石見拓、平出敦、野々木宏、川村孝、西内達也、林靖之、行岡秀和、田中裕、島津岳士、杉本壽：院外心停止例に対する単相性及び二相性 AED の除細動成功率・転帰に関する検討～ウツタイン大阪プロジェクトより～。第 34 回日本救急医学会総会、2006 年 11 月 1 日、福岡。
2. 早川航一、清水健太郎、田崎修、小倉裕司、田中裕、島津岳士、杉本壽：院外心停止例に対する PCPS 導入—アルゴリズム作成の有用性。第 34 回日本救急医学会総会、2006 年 11 月 1 日、福岡。
3. Kajino K, Iwami T, Hiraide A, Nonogi H, Kawamura T, Nishiuchi T, Yukioka H, Tanaka H, Shimazu T, Sugimoto H: Comparison of biphasic and monophasic waveform defibrillation for out-of-hospital cardiac arrest cases with ventricular fibrillation: observations from a large-scale population-based Utstein study in Japan. American Heart Association Scientific sessions 2006, November 13, 2006, Chicago, USA.

## H. 知的所有権の取得状況

- 1.特許取得  なし
- 2.実用新案登録なし
- 3.その他

新聞報道(資料 5)日本経済新聞(夕刊)  
平成 19 年 3 月 9 日

## 大阪府内の A E D 設置場所等情報へのご協力について

謹啓

私どもは厚生労働省の指導のもと、貴施設にも設置される A E D（自動体外式除細動器）の日本全国での普及・啓発を促進しています。

A E D が医療従事者以外の一般の方への使用が認められてから、多くの方の救命に役立っています。先の愛知万博で市民による A E D 使用により 4 人の方の命を救ったことは有名です。大阪では平成 1 8 年 1 2 月に藤井寺市の体育館で突然倒れた男性が A E D の使用で一命をとりとめました。

このように大きな役割を果たす A E D は、多くの公共施設や企業、病院などで導入されています。しかし実際には、A E D の設置状況についてはどこも把握しておらず、その使用状況を検証することや、講習会等の参加状況を把握することもできず、真の意味での市民による早期除細動を実現することが難しい状態であります。

そこで、今回、A E D 設置状況システムを確立すべく、第一段階として、大阪府内で試行実施することとなりました。本事業の対象は、大阪府内で A E D を新たに設置された団体または個人です。A E D 購入時に設置場所等を登録していただきます。登録のメリットとしては、無料で A E D 講習会の受講や A E D 使用に関する情報提供を受けることができます。また、A E D の設置状況を公開することにより、貴施設がそこで働く（そこに集まる）人々の安全を目指していること、安心した地域社会づくりに貢献していることを多くの市民に知ってもらおうこととなります。

なお、本事業は市民による救命のためのよりよい環境づくりを目指すことを目的としており、個々の施設の欠陥を探して非難しようとするものではありません。以上の主旨をご理解いただき、是非、本事業にご協力下さいますようお願い致します。

謹白

事業責任者 大阪府 A E D 普及促進委員会  
協力機関 大阪大学高度救命救急センター  
NPO 法人大阪ライフサポート協会

AED設置場所等情報に関する調査票  
レジストリ参加に ( 承諾 ・ 非承諾 )

1. 施設名 (企業名)

2. 設置場所

(1) 郵便番号 \_\_\_\_\_

(2) 市区町村 \_\_\_\_\_

(3) 番地 \_\_\_\_\_

(4) ビル, 棟, 階, 室など \_\_\_\_\_

3. 一般市民の使用 可 ・ 不可

○公開を希望しない項目番号 ( 1 2 3 4 )

○ご担当者連絡先

ご氏名 \_\_\_\_\_

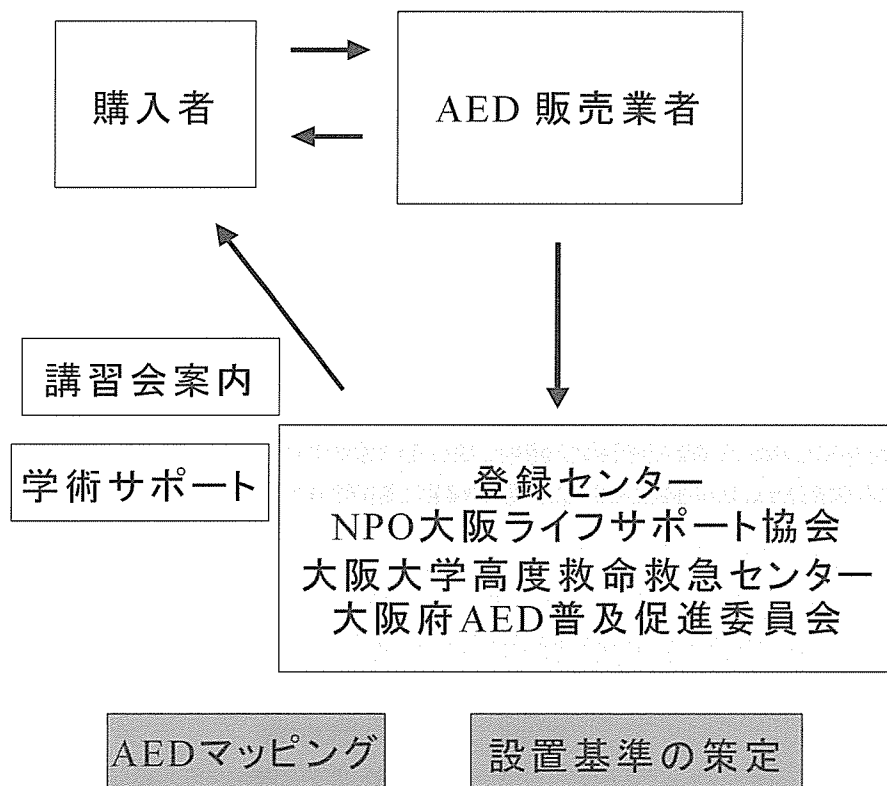
お電話番号 \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

機種名 \_\_\_\_\_

## AED レジストリの組織図

AEDの普及状況を継続的に把握する大規模システムの開発に関する研究(大阪版)







## 大阪府内のAED設置場所等情報へのご協力について

謹啓

私どもは厚生労働省の指導のもと、施設にも設置されるAED(自動体外式除細動器)の日本全国での普及啓発を促進しています。AEDが医療従事者以外の方への使用が認められてから、多くの方の救命に役立っています。先の愛知万博で市民によるAED使用により4人の方の命を救ったことは有名です。大阪では平成18年12月に藤井寺市の体育館で突然倒れた男性がAEDの使用で一命をとりとめました。このように大きな役割を果たすAEDは、多くの公共施設や企業、病院などで導入されています。しかし実際には、AEDの設置状況についてほとんど把握しておらず、その使用状況を検証することや、講習会等の参加状況を把握することもできず、真の意味での市民による早期除細動を実現することが難しい状態です。そこで、今回、AED設置状況システムを確立すべく、第一段階として、大阪府内で試行実施することとなりました。本事業の対象は、大阪府内でAEDを新たに設置された団体または個人です。AED購入時に設置場所等を登録していただきます。登録のメリットとしては、無料でAED講習会の受講ができ、またAED使用に関する情報提供を受けることができます。また、AEDの設置状況を公開することにより、施設がそこで働く(そこに集まる)人々の安全を目指していること、安心した地域社会づくりに貢献していることを多くの市民に知ってもらうことになります。なお、本事業は市民による救命のためのよりよい環境づくりを目指すことを目的としており、個々の施設の欠陥を調べて非難しようとするものではありません。以上の主旨をご理解いただき、是非、本事業にご協力下さいようお願い致します。


謹白

事業責任者 田中 裕 (大阪大学高度救命救急センター)

協力機関 大阪府健康福祉部医療対策課

NPO法人大阪ライフサポート協会

## AEDレジストリシステム

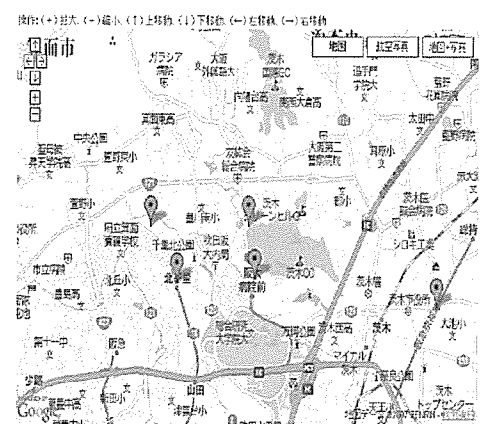


概要書
AEDマップ
協力機関情報
講習会参加申込  
このページへ

AED設置場所一覧

市区町村を指定してください  検索

↑ 拡大 ↓ 縮小 (1) 上移動 (2) 下移動 (←) 左移動 (→) 右移動



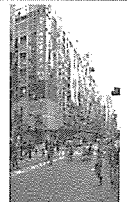


AED設置施設 一覧	
施設名	住所
大阪大府南 南東14条緑色センターA	大阪府吹田市山田丘2-24-15号
国立相模橋緑センターB	大阪府吹田市緑色センターA
少子中心センターA 福祉センター	
緊急水車駅	茨木市
緊急津田駅	
緊急北千鳥駅	吹田市千鳥4丁目2
緊急三宮駅	兵庫県神戸市中央区幸町1-1-100ビル
緊急十三駅	大阪府大阪市東区 東区0021-101
緊急加古駅	大阪府大阪市東淀川区
緊急安福駅	箕面市
緊急安福駅	吹田市



AED設置施設一覧		
施設名	住所	MAP   詳細
大阪大府南 南東14条緑色センターA	大阪府吹田市山田丘2-24-15号	MAP   詳細
国立相模橋緑センターB	大阪府吹田市緑色センターA	MAP   詳細
少子中心センターA 福祉センター		MAP   詳細
緊急水車駅	茨木市	MAP   詳細
緊急津田駅		MAP   詳細
緊急北千鳥駅	吹田市千鳥4丁目2	MAP   詳細
緊急三宮駅	兵庫県神戸市中央区幸町1-1-100ビル	MAP   詳細
緊急十三駅	大阪府大阪市東区 東区0021-101	MAP   詳細
緊急加古駅	大阪府大阪市東淀川区	MAP   詳細
緊急安福駅	箕面市	MAP   詳細
緊急安福駅	吹田市	MAP   詳細

大阪大府南 高層救命救急センターA

× 大阪府吹田市山田丘2-24-15号

## AEDレジストリシステム

### AEDレジストリ登録ログイン画面

パスワード:

**ログイン**

パスワードを入力して  
ログインボタンを押してください。

[個人情報保護方針](#)

#### 大阪府内のAED設置場所等情報へのご協力について

謹啓

私どもは厚生労働省の指導のもと、施設にも設置されるAED(自動体外式除細動器)の日本全国での普及・啓発を促進しています。AEDが医療従事者以外の一般の方への使用が認められてから、多くの方の救命に役立っています。先の愛知万博で市民によるAED使用により4人の方の命を救ったことは有名です。大阪では平成18年12月に藤井寺市の体育館で突然倒れた男性がAEDの使用で一命をとりとめました。このように大きな役割を果たすAEDは、多くの公共施設や企業、病院などで導入されています。しかし実際には、AEDの設置状況についてほとんど把握しておらず、その使用状況を検証することや、講習会等の参加状況を把握することもできず、真の意味での市民による早期除細動を実現することが難しい状態にあります。そこで、今回、AED設置状況システムを確立すべく、第一段階として、大阪府内で試行実施することとなりました。本事業の対象は、大阪府内でAEDを新たに設置された団体または個人です。AED購入時に設置場所等を登録していただきます。登録のメリットとしては、無料でAED講習会の受講ができ、またAED使用に関する情報提供を受けることができます。また、AEDの設置状況を公開することにより、施設がそこで働く(そこに集まる)人々の安全を目指していること、安心した地域社会づくりに貢献していることを多くの市民に知ってもらうこととなります。なお、本事業は市民による救命のためのよりよい環境づくりを目指すことを目的としており、個々の施設の欠陥を探して非難しようとするものではありません。以上の主旨をご理解いただき、是非、本事業にご協力下さいますようお願い致します。

謹白

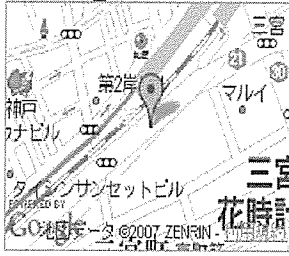
事業責任者 田中 裕(大阪大学高度救命救急センター)

協力機関 大阪府健康福祉部医療対策課

NPO法人大阪ライフサポート協会

## AEDレジストリシステム

## AEDレジストリ登録画面

AEDレジストリ一般サイトへの公開	
設置施設の登録情報を一般向けに公開する※	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開
設置施設情報	
施設名(企業名)※	株式会社エマーテック <input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開
フリガナ※	エマーテック 施設名(企業名)のフリガナを全角カタカナで入力してください。
施設区分	<input type="radio"/> 1:家庭(個人所有) <input type="radio"/> 2:学校・教育機関 <input type="radio"/> 3:マンションアパート <input checked="" type="radio"/> 4:工場、会社 <input type="radio"/> 5:スポーツ施設 <input type="radio"/> 6:交通機関(駅など) <input type="radio"/> 7:医療・福祉施設 <input type="radio"/> 8:商業施設 <input type="radio"/> 9:警察・消防機関 <input type="radio"/> 10:宿泊施設 <input type="radio"/> 11:寺院・協会 <input type="radio"/> 12:その他 <input type="text"/>
住所※	兵庫県 <input type="text"/> (都道府県) 神戸市中央区 <input type="text"/> (市区町村 町名番地) 京町1-9 <input type="text"/> (マンション・建物名) <input type="button" value="地図に表示"/>
地図の座標	 経度: 135.192526 緯度: 34.692306 <input type="button" value="座標の調整"/>
お電話番号※	<input type="text"/> (ハイフン)を含めて入力してください。